

会計名	平成22年度	平成21年度	増減
一般会計	57億8,017万7千円	64億9,708万7千円	△7億1,691万円
国民健康保険事業特別会計	21億5,588万円	21億5,988万円	△400万円
水道事業会計	2億3,771万5千円	2億3,839万9千円	△68万4千円
老人保健特別会計	352万8千円	2,300万1千円	△1,947万3千円
公共下水道事業特別会計	2億1,419万7千円	3億2,499万7千円	△1億1,080万円
介護保険事業特別会計	15億8,047万4千円	15億2,040万1千円	6,007万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,208万2千円	1億6,370万1千円	△1,161万9千円
合計	101億2,405万3千円	109億2,746万6千円	△8億341万3千円

平成22年度の主な事業

- 【大隅スポーツ交流拠点プロジェクト事業】（社会教育課）
恵まれた自然を活用しながらスポーツと観光による交流人口の拡大を図り、スポーツ産業、観光産業等の振興方策を探るための事業
- 【大崎町がらばる地域応援交付金事業】（総務課）
自治公民館の活性化・自主防災組織運営の助成
- 【子ども手当支給事業】（保健福祉課）
子ども手当の支給
- 【マスターズプロジェクト推進事業】（保健福祉課）
高齢者の体力維持・向上を図り自立した生活の確保を支援する事業
- 【温泉利用料助成】（保健福祉課）
65歳以上の町民に対し、町内温泉利用料の助成を行なう事業
- 【乳幼児医療費対象者拡充】（保健福祉課）
3歳から就学前児童に拡充
- 【農業後継者対策推進事業】（農林振興課）
新規就農者支援や農業高校との密な連携を行なうことにより、次代の町農業を担う優れた農業後継者の育成を図る事業
- 【繁殖雌牛更新対策事業】（農林振興課）
不妊牛、低能力牛の更新で生産率及び資質の向上を図り、肉用牛生産農家の経営安定を図る事業
- 【合併処理浄化槽設置補助事業】（水道課）
下水道認可区域外で設置される合併浄化槽設置費の一定割合を助成する事業
- 【町道等整備事業】（建設課）
神領丸尾線、宮下中段線、中村上別府線、加治木堀立小野線等
- 【学校施設整備事業】（教育委員会管理課）
大丸小学校図書室他改修工事
- 【大規模土地改良事業等】（耕地課）
経営体育成基盤整備事業（ほ場整備・長田地区）
農村振興総合整備事業
曾於南部地区県営畑地帯総合整備事業（管水路、農道整備）
農地・水・環境保全向上対策事業
ため池等整備事業（新田地区）
農業用施設整備事業（高尾地区他）
- 【施設等の整備】
防火水槽新設、解体工事、交通安全施設工事、軽四輪積載車購入、中沖公民館駐車場舗装工事

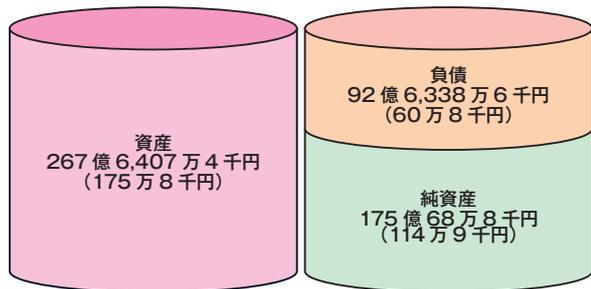
平成20年度の大崎町の財政状況

バランスシートと行政コスト計算書

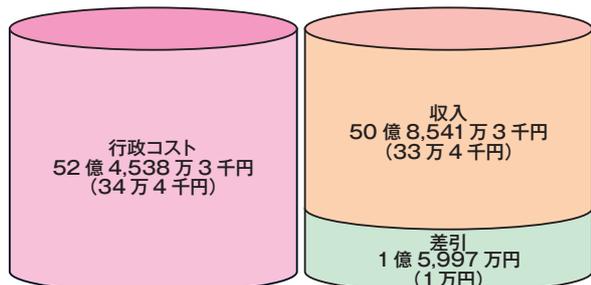
(平成21年3月31日現在)

『バランスシート』と『行政コスト計算書』は、一般企業の貸借対照表と損益計算書に当たるもので、本町の財政状況を示したものです。なお、()内は町民1人当たりの金額です。

① バランスシート (一般会計)



② 行政コスト計算書 (一般会計)



【解説】

資産とは、庁舎や学校・公園などの公共施設や道路など、町の保有する財産のことです。大崎町の資産は平成20年度末時点で267億6,407万4千円となっています。

負債とは、町債（町の行う借金）や退職手当引当金のことです。将来、支払いや返済する必要があるものです。平成20年度末の大崎町の負債は92億6,338万6千円です。

純資産とは、資産と負債の差額です。これまでの世代が作り上げ、後世に引き継ぐものと言えます。大崎町の資産は平成20年度末時点で175億68万8千円となっています。

行政コスト計算書は、資産形成につながらない人件費、物件費、扶助費などに着目して、1年間の行政サービス活動にかかった費用を示すものです。収入額(50億8,541万3千円)から行政コスト総額(52億4,538万3千円)を差し引いた額(△1億5,997万円)が、平成20年度中の純資産の一般財源などの増減分です。